

サステナブル カンパニーを 目指して

36

小坂研究所（東京都千代田区、小坂伊一郎社長）は、流体機器、自動機器、精密測定機と3分野の機器を製造・販売しており、ニッチな市場で高いシェアを誇る製品を数多く持つ。石油に関連した分野を得意としてきたが、世界では脱炭素化に向けた取り組みが進む。積み上げてきた技術を生かしながら、時

小坂研究所



小坂社長

流体機器メーカー

代の流れに応じて柔軟に変化を遂げている。同ポンプのほか、同社の流体機器は石油の

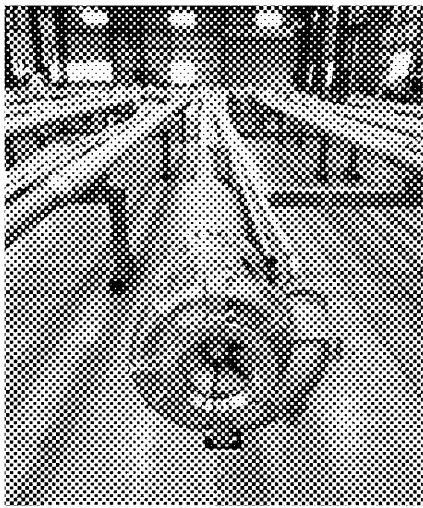
に用いる「サブマージドカーゴポンプ」がある。これを製造しているのは日本で同社のみ、世界では同社を含めて2社だという。

自社の強みについて小坂社長は「日本でいうちだけ、世界で数社とあった製品が多いことだ」と語る。「百貨店には勝てないが、ハンカチ専門店なら百貨店が、世界では脱炭素化の機運が高まっている」という立派な

ハンカチ屋の精神で挑み続けてきた。これを受け、同社は2020年に「ビジョン2030」を策定し

同社の製品の一つにケミカルタンカー内の流体物を吸い上げる際

技術応用で脱炭素対応



（SDGs）の推進に合わせ、30年までに同社の商品群や社内環境を変えていくことが目的だ。

流体機器では、火力発電の中でもパルプの搾りかすを燃料とするものや水力発電などにも進めている。フラッ

の包装機では、包装の簡易化に対応した。新たな分野への展開の社内周知を進化に適応しながら製品開発を続けていく。

ニッチトップ新分野開拓

（楠由萌）
（随時掲載）



東京投資育成から

【業務第一部・中村圭介部長代理】1950年の創業以来、「測る」「送る」「作る」の3分野で、独自の高品質な機器を開発・製造してきた。「たとえ限られた分野であっても、その分野でのリーダーであること」という創業理念を重視し、新製品開発や新たな市場の開拓に積極的に取り組んでいる。100年企業に向けて、さらなる発展が期待される。